

翔

百万石蝶談会 No 158

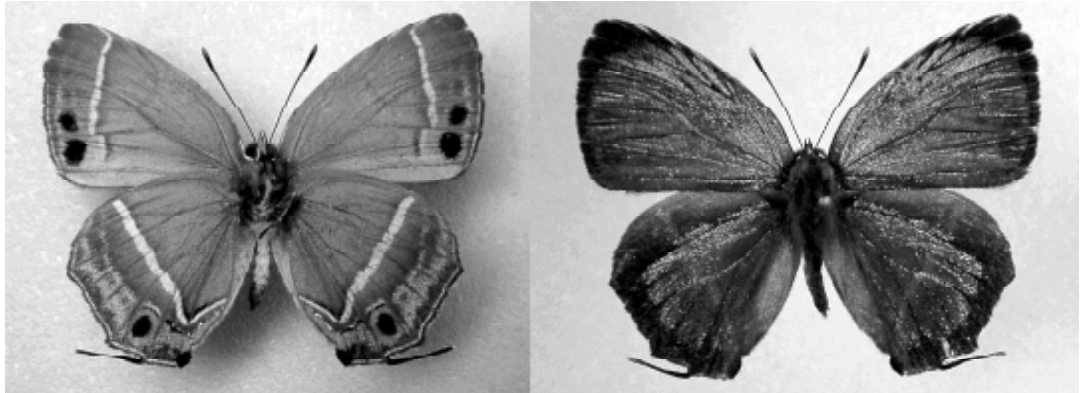
October 2002

医王山でヒサマツミドリシジミを採集

細 沼 宏

筆者は、医王山の石川県金沢市と富山県西砺波郡福光町の境に於いて、ヒサマツミドリシジミを採集したので報告する。

2002年7月6日 医王山・夕霧峠付近 2♂採集 細沼 宏



採集場所は、夕霧峠より北へ500m程進んだ石川・富山県境の尾根道であった。当日は台風5号の影響と思われる強風が吹き荒れていたが、わずかに風が弱まった10時30分頃、道路上50cm付近を乱舞している2匹のゼフィルスを発見し、捕獲した。初めは、アイノミドリシジミの傷んだオスが、乱舞している程度に考えていたため、傷みの程度を見て放すつもりで2匹の蝶に網をかぶせた。網の中の蝶を覗き込み、長い尾状突起と後翅のV字を見てヒサマツミドリシジミであることを確認し、三角紙に納めた。

本種は、三上秀彦氏により、2000年11月に県境まで直線距離で1.2kmの富山県西砺波郡福光町に於いて25卵が採集されており（三上、2001）、富山県側から強風により飛ばされたものが、尾根道でテリトリーをはっていたものと推測している。当日、他に採集した蝶を下記に示す。

■2002年7月6日 医王山・夕霧峠付近

メスアカミドリシジミ	1♀	ウラミスジシジミ	1♀
フジミドリシジミ	2♂	ウスイロオナガシジミ	1♂
アイノミドリシジミ	1♀	ムラサキシジミ	1♀
エゾミドリシジミ	2♀		

採集場所が、石川県なのか、富山県なのか、はっきりしなかったが、採集翌日に採集場所が県境であることを確認をしていただいた松井正人氏に、お礼申し上げる。

《参考文献》

三上秀彦(2001) 富山県福光町におけるヒサマツミドリシジミの記録. 翔(150):3.

《ほそぬま ひろし 〒920-0276 内灘町緑台2-122》

石川県尾口村新岩間温泉周辺で採集目撃した蝶類

大 脇 淳

2002年8月6日、石川県石川郡尾口村新岩間温泉周辺で、採集・目撃した蝶類を報告する。当日は天気恵まれ快晴だったが、岩間温泉周辺の調査時は曇っていた。

■新岩間温泉～岩間温泉（午後1～3時半）

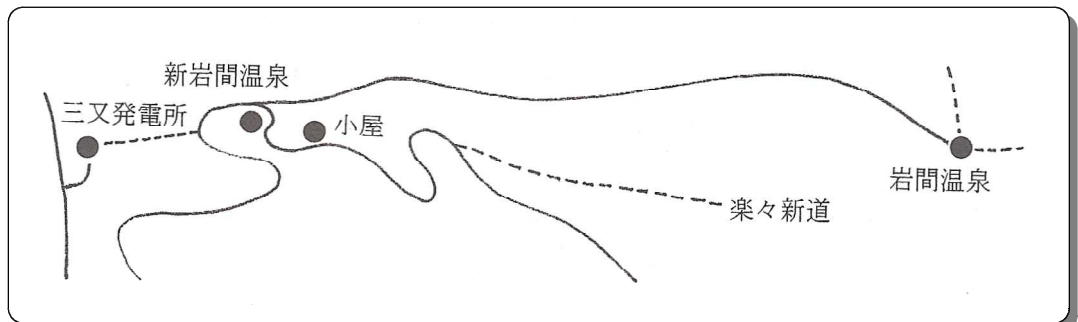
ヘリグロチャバネセセリ	2♂採集多数目撃	サカハチチョウ	多数目撃
コキマダラセセリ	数頭目撃	ゴマシジミ	1♂採集
キチョウ	多数目撃	ルリシジミ	数頭目撃
アサマイチモンジ	1♀採集	ウラギンシジミ	数頭目撃
イチモンジチョウ	1頭目撃	コジャノメ	1頭採集
ホシミスジ	3頭目撃		

変な飛び方をするヒメウラナミジャノメをネットに入れると、これがゴマシジミで、岩間温泉よりの標高1000～1100m付近で採集した。ヘリグロチャバネセセリは、斜面に咲いていたヒヨドリバナに多数の個体が来ており、♂が♀の後ろで翅を小刻みに震わせている求愛行動を2回観察した。

■新岩間温泉～丸石谷（午後3時半～4時半）

ヘリグロチャバネセセリ	数頭目撃	イチモンジチョウ	1頭目撃
オナガアゲハ	1♀目撃	ムモンアカシジミ	1♀採集
カラスアゲハ	数頭目撃	ウラミスジシジミ	1♂1♀目撃
ミヤマカラスアゲハ	数頭目撃	エゾミドリシジミ	1♀目撃

小屋から500mほど奥へ行った、周辺にはあまりミズナラが無い所で、ハンノキ類の葉上に静止していたムモンアカシジミを採集した。また、ウラミスジシジミは、交尾中の個体を目撃している。



《おおわき あつし 〒920-0942 金沢市小立野1-23-20》

石川県押水町の神社林でウスイロコノマチョウを目撃

松井 正 人

裏面に明瞭なチリメン模様と眼状紋を有した夏型のウスイロコノマチョウを、押水町北川尻の神社林で目撃したので報告する。

2002年 8月26日 石川県羽咋郡押水町北川尻 1頭目撃 松井正人

ウスイロコノマチョウは迷蝶でありながら、石川県での観察例は24例と多く、1991年に10例、1998年に5例と、特定の年に集中して観察されている。また、羽咋郡富来町鹿頭の神社林では4例、加賀市西島の神社林では2例、そして今回の北川尻では2例目と、一度観察された場所で再び観察される傾向がある。

一方、これまで観察されている場所を中心に調査を継続しているが、1999年の1例を最後に、2000年、2001年と観察されていなかった。

《参考文献》

橋場 清 (1989) ウスイロコノマチョウの石川県における記録. とっくりばち(55):3-4.

百万石蝶談会編集部 (1994) 短報27. 翔(107):9.

小松市立博物館 (1991) 所蔵品目録. 小松市立博物館研究紀要(28):61-63.

松井正人 (1992) 1991年の石川県はコノマチョウが豊作?. 翔(94):1-2.

松井正人 (1999) ウスイロコノマチョウの集まる場所. 翔(139):1.

松井正人・森 正俊 (1996) ポピュラーになりつつあるウスイロコノマチョウ. 翔(121):5.

森 浩一 (1992) 91年秋ウスイロコノマチョウ・クロコノマチョウの記録. 杉峠 15(16):45.

嵯峨井淳郎 (2000) 金沢市内でウスイロコノマチョウを目撃. 翔(145):3.

富沢 章 (1997) 国分五男氏の採集記録から. 翔(124):1.

吉村久貴 (1997) 金沢市南千谷でウスイロコノマチョウを採集. 翔(128):4.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

オオオビハナノミの追加記録

井 村 正 行

オオオビハナノミは、記録が大変少ないようなので報告しておく。ブナの倒木の廻りを飛翔していた。

1999年 8月5日 石川県尾口村尾添 1頭 井村正行 採集

《参考文献》

高羽正治 (1998) コウチュウ目ハナノミ科. 石川県の昆虫:193-194. 石川県.

《いむら まさゆき 〒920-0211 金沢市湊1-128》

石川県におけるムモンアカシジミの新産地

矢田 新平

本種の白山山系における産地は白峰村市ノ瀬、白峰村大杉谷、白峰村桑島百合谷、尾口村新岩間温泉、尾口村目附谷、など狭い地域に限られているが、今回、尾口村瀬女高原で本種3頭を目撃し、内1頭を採集した。当地は、いまだ本種の採集記録のないところのようであったので、新産地として報告する。

■ムモンアカシジミ *Shirozua jonasi* JANSON

2002年8月16日 石川県石川郡尾口村瀬女高原(alt. 900m) 1頭採集2頭目撃 矢田新平

尾口村の手取川ダム下の女原集落にハーブガーデンのミントレイノがあるが、この建物の左側の林道を山に向かって約5 km進むと、瀬女高原ロープウエーの山頂駅の直ぐ下方に到着する。ここまでは全て舗装道路となっており、それより先は目下工事中で将来はさらに先まで行くことができそうである。今回の観察現場は行き止まりの少し手前で、たまたまタデの白い花をスイーピングしていたときに、ネットインしたものである。新鮮な個体でなかったことから、発生からかなりの時間が経過した個体と思われた。この他の2頭は飛翔中のもので、採集はできなかった。当日の天候は晴れ。観察時刻は13時頃で、とても暑く30℃を越えていた。近くには、ア리가上下している古木が見受けられた。

《参考文献》

松井正人 (1998) チョウ目蝶類. 石川の自然環境シリーズ 石川県の昆虫 : 342-365.
竹谷宏二 (2001) 白峰村市ノ瀬でムモンアカシジミを目撃. 翔 (153) : 6.

《やた しんぺい 〒923-0802 小松市上小松町丙192-8》

石川県輪島市での2001年の蝶採集記録から

日吉芳朗・日吉南賀子

■ツマグロヒョウモン

1998~2000年の3年間にわたって気勝山、高洲山、宝立山で観察されたツマグロヒョウモンが、2001年にはなかなか観察できなかった。とくに8~10月にかけて安定してみられた気勝山が気になっていたが、10月下旬に少数ながらその姿を認めることができた。これ以外には、7月に市街地で吸蜜中の1♀を目撃したのみである。

2001年7月15日	輪島市河井町重蔵神社	1♀目撃	日吉芳朗
2001年10月27日	輪島市気勝山	1♂採集 2♂目撃	日吉芳朗
2001年10月31日	輪島市気勝山	1♂	日吉芳朗

■ヒオドシチョウ

近年、ヒオドシチョウの姿がみられなくなったことを指摘しておいたが（日吉芳朗、2000）（日吉芳朗・日吉南賀子、2001）、2001年は、宝立山、鉢伏山などでかなりの個体を目撃することができた。本種が周期的に大量発生するのであれば、その年にあつたのかもしれない。

2001年6月17日	輪島市鉢伏山	1♂	日吉芳朗
2001年6月18日	輪島市宝立山	7頭目撃	日吉芳朗
2001年6月18日	輪島市深見町	1♂採集 5頭目撃	日吉宏朗・日吉芳朗
2001年6月22日	輪島市鉢伏山	1♂採集 5頭目撃	日吉南賀子・日吉芳朗
2001年6月29日	輪島市鉢伏山	6頭目撃	日吉南賀子・日吉芳朗

■ゴマダラチョウ

原因は不明であるが、本年はゴマダラチョウを目撃することはほとんどなく、採集個体も1頭にすぎなかった。このような年はかつてなかったことである。

2001年6月17日	輪島市三井仁行	1頭目撃	日吉宏朗
2001年8月4日	輪島市鉢伏山	1♂	日吉宏朗

■ゴイシシジミ

これまでに見出したゴイシシジミの唯一の多産地として、宝立山頂上をあげておいたが（日吉芳朗、2000）、その後、頂上付近の工事のためか姿がみられなくなった。ところが2001年に、三井町与呂見坂田の林道（5536-77-66）で多数発生しているのを確かめた。

2001年9月2日	輪島市三井与呂見坂田	6♂1♀採集10頭以上目撃	日吉南賀子・日吉芳朗
2001年9月8日	輪島市三井与呂見坂田	1♀採集10頭以上目撃	日吉南賀子・日吉芳朗

■テングチョウ

6月18日、町野町谷地の鈴屋川沿いの林道（5637-10-18）で、吸水中のきわめて多数のテングチョウを目撃した。輪島市内の一ヶ所でこれだけの数に出合ったのは初めてである。

2001年6月18日	輪島市町野谷地	30頭以上目撃	日吉宏朗・日吉芳朗
------------	---------	---------	-----------

■ヤマキマダラヒカゲ

ヤマキマダラヒカゲの第1化が輪島市の山地にあらわれるのは、例年6月上旬から下旬にかけてである。しかし、2001年は5月中旬にその姿をみせ、6月中にはほとんどみることがなかった。また、第2化は通常8月中、下旬に大量に発生するのであるが、2001年のその数はいたって少なかった。第1化についての採集・目撃記録を以下に記す。

2001年5月13日	輪島市大沢	1♂採集 1頭目撃	日吉南賀子
2001年5月13日	輪島市上黒川	1♂採集 2頭目撃	日吉芳朗

2001年5月16日	輪島市三蛇山	2♂採集5頭目撃	日吉芳朗・日吉南賀子
2001年5月17日	輪島市高洲山	1♂採集2頭目撃	日吉南賀子
2001年5月21日	輪島市高洲山	1♂1♀採集1頭目撃	日吉芳朗

■サトキマダラヒカゲ

サトキマダラヒカゲは、輪島市ではこれまで比較的低山地（標高50mまで）でしか観察することができなかつた。ところが2001年、三井町与呂見坂田で2♀を採集したが、この地点（5536-77-66）は、ヤマキマダラヒカゲが採集できる標高約200mの奥まった山地である。

サトキマダラヒカゲ 2001年9月2日 輪島市三井与呂見坂田 2♀ 日吉南賀子・日吉芳朗
 ヤマキマダラヒカゲ 2001年9月8日 輪島市三井与呂見坂田 1♀ 日吉芳朗

■舳倉島での記録から

7月29日、気温33～34℃、風速8～10mの悪条件下であったが、島の中央部の林内でウラギンシジミ2♂を採集した。これは舳倉島での初記録である。また北面の海岸でルリタテハ1♀を得たが、2000年に続く2頭目の採集記録である。

ウラギンシジミ 2001年7月29日 輪島市舳倉島 2♂ 日吉南賀子
 ルリタテハ 2001年7月29日 輪島市舳倉島 1♀ 日吉芳朗

なお2001年に記録したゼフィルス類、アサギマダラ、タイワンアサギマダラ、オオヒカゲ、ミヤマチャバネセセリについては別に報告しておいた。

《参考文献》

- 日吉宏朗・日吉南賀子・日吉芳朗（2001）2001年の輪島市および鳳至郡門前町とその周辺におけるゼフィルス. 翔（153）：3-5.
- 日吉芳朗（2000）輪島市での1998年の蝶採集記録から. アカハネムシ（31）：1-5.
- 日吉芳朗（2001）石川県輪島市でタイワンアサギマダラを採集. 月刊むし（370）：2.
- 日吉芳朗・日吉南賀子（2001）石川県輪島市での1999年の蝶採集記録から. 翔（149）：5-8.
- 日吉芳朗・日吉南賀子（2002）輪島市におけるミヤマチャバネセセリとオオチャバネセセリの最近の動向. 翔（156）：3.
- 日吉芳朗・日吉南賀子（2002）2001年の石川県輪島市におけるアサギマダラのマーキング調査. 翔（156）：5-7.
- 日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗（2002）輪島市とその周辺に於けるオオヒカゲの記録と生態. 翔（157）：4-5.

《ひよし よしろう・ひよし ながこ 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

ヒサマツミドリシジミ採卵の有力ポイント

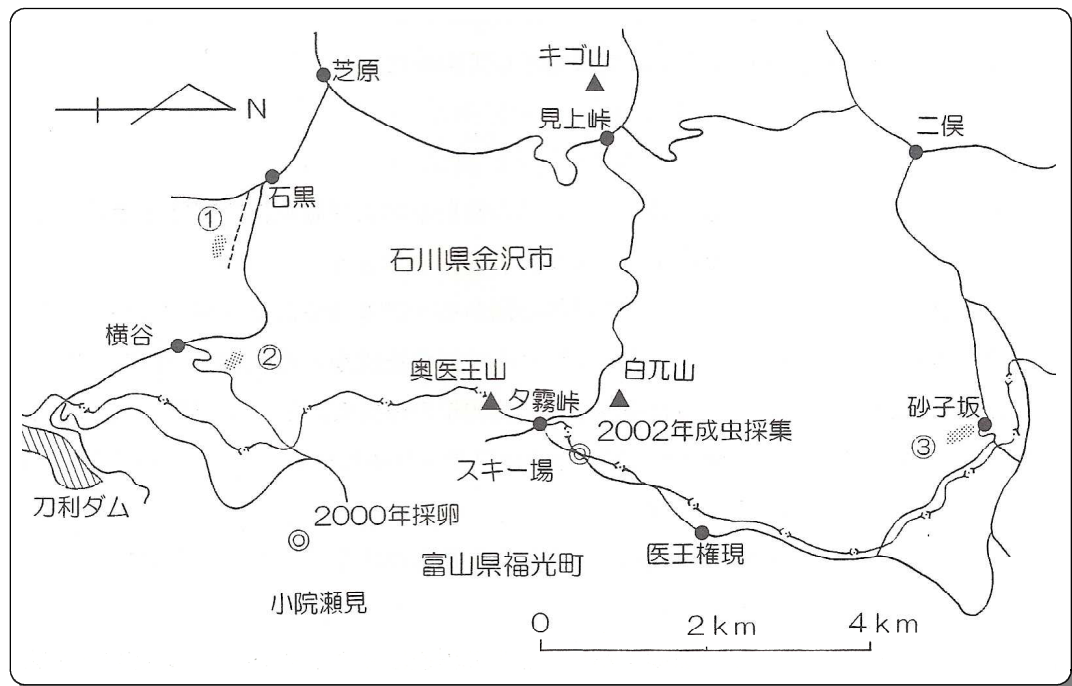
松井 正人

富山県内のヒサマツミドリシジミの産地は、井村らの採卵調査により、1989年と1990年に多数発見された（井村・他、1989）（中西・他、1989）（井村・他3名、1990）。この一連の調査の中で採卵された富山県東砺波郡井波町不動滝が、石川・富山県境から14kmの距離にあって最も石川県に近く、それ以後は、石川県により近づいた場所で採卵されることはなく、井波町が最も石川県に近いヒサマツミドリシジミの産地となっていた。

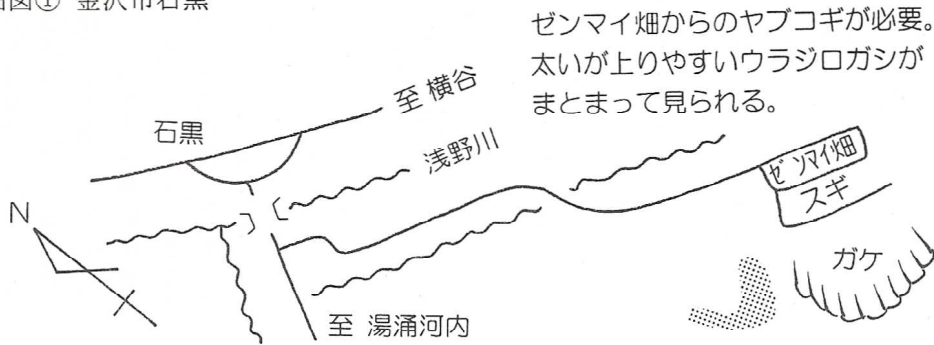
2000年になり、石川・富山県境（金沢市・福光町境）からわずか1.2kmの距離にある富山県西砺波郡福光町小院瀬見でヒサマツミドリシジミが採卵され（三上、2000）、2002年には、石川・富山県境（金沢市・福光町境）で成虫2♂が採集された（細沼、2002）。

一方、石川県内におけるヒサマツミドリシジミの採卵調査は、1978年から始まっていたと思われる（井村・他、1978）。また、井村らは、富山県内での調査を行っていた頃、石川県内でも調査を行っている（井村・他5名、1990）が、採卵には至らず生息地は発見されていない。2000年に小院瀬見で採卵されるや、尾根ひとつ越えた金沢市側でも執拗な調査が行われているが、この時も採卵には至っていない。

金沢市・福光町境で成虫が採集されたとなると、金沢市内に於いて採卵されるのも、もはや時間の問題と思われるので、県境付近にウラジログシがまとまって見られる場所を紹介することにより、読者各位の調査を期待したい。この場所は、2000年に調査を行った場所でもある。



詳細図① 金沢市石黒



ゼンマイ畑からのヤブコギが必要。
太いが上りやすいウラジロガシが
まとまって見られる。

詳細図② 金沢市横谷



スギ林からのヤブコギが必要。
この外にも、横谷周辺には
ポツポツとウラジロガシが
見られる。

詳細図③ 金沢市砂子坂



畑からは、用水管理の歩道を
行くと、歩道脇に太いウラジロ
ガシが、まとまって見られる。

《参考文献》

- 細沼 宏 (2002) 医王山でヒサツミドリジミを採集. 翔(158):1.
井村正行・他3名 (1978) ヒサツミドリジミ探索記. 翔(3):2.
井村正行・他5名 (1989) 富山県に於けるヒサツミドリジミの分布調査(その1). 翔(81):1-2.
井村正行・他5名 (1990) 石川県に於けるヒサツミドリジミの分布調査(その1). 翔(82):3-4.
井村正行・他3名 (1990) 富山県に於けるヒサツミドリジミの分布調査(その3). 翔(84):3-4.
三上秀彦 (2001) 富山県福光町におけるヒサツミドリジミの記録. 翔(150):3.
中西重雄・他3名 (1990) 富山県に於けるヒサツミドリジミの分布調査(その2). 翔(82):1-2.

ウスイロコ注意報 発売

ウスイロコノマチヨウが、石川県に侵入しているのが目撃され、水田地帯や街中に、ポツンと残された神社林や屋敷林を調査するよう、すかさずEメールで注意が促された。

林 正美氏と香林坊で懇親会

八月二十七日、日本セミの会の林正美氏が、スジアカクマゼミの調査に来沢し、県内のセミ好きが懇親会に誘った。スジアカの真の発生地が国内に有る可能性は否定できないとか、石川県で採れたアカエゾはアドニス型だったとか、興味津々の話が続いた。

ムラサキシジミは産卵したが

松井氏、飼育により羽化したムラサキシジミ一♂二♀を使つて採卵を試みているが、産卵はするが孵化しない、いわゆる無精卵に泣いている。♂は死んでしまったが、四十日経った今も♀は健在で、元気な♂を待っている。

胴長をはいてコムラサキ調査

輪島の日吉宏朗氏、能登各地でコムラサキの調査をしているが、対岸や中州での調査もあるので、胴長をはいて調査している。

金沢城趾でムラサキシジミ

ウラナミアカが採れた金沢城趾で、今度はムラサキが採れた。採集者の大脇君は、ムラサキに好かれていているようで、記録の少ない石川県内で、毎年のように記録している。

輪島市鉢伏山↓山形市蔵王山

日吉氏が鉢伏山から飛ばしたアサギマダラが、永幡嘉之氏によつて蔵王で再捕獲された。能登から最も北へ飛んだ記録になるが、どんな経路で飛んで行ったのだろうか。

アンデスを越えて

指田氏、リマからアンデスを越え、アマゾン最上流部のジャングルに入った。これまでに経験したことのないおび

ただしい数の蝶に圧倒されつつも、五日で千頭以上を採集。

集団を作った蝶に網は不要で、傷んでいる蝶をよけながら、きれいなものだけをつまんで採集したとか。アンデス越えの時は、ギンジャノメ等の高山蝶もゲットした。

珠洲ゲンゴのライトツア

九月初めは新成虫によつてゲンゴの密度が高まり、分散飛翔があると予想したゲンゴグループ、九月七日に珠洲の三つの池にライトを設置。頃は新月、小雨が降りそうな曇天と、最高のコンディションだったが、ゲンゴの飛来は全く無く、ガムシ、ミズムシの飛来もほとんど無かった。

九月前半のマークはわずか

宝達山、九月一日は猛暑で三〇度を超えていた。七日は大雨。十四日の最高気温は十八度で午後からは雨と、九月に入って天候に恵まれない。アサギの飛来も少なく、マークがはかどらない。

例会の記録

八月一日(木)城南管工一階にて八時から開催。

今回の話題は、医王山のヒサマツと、コムラサキ♀の変異。ヒサマツに付いては、今号にも掲載されているが、採集のいきさつが熱く語られた。コムラサキ♀の変異に付いては、異常型と考えるくらいの変異があり、ナミコムラと言えども侮れないとの思いが募った。

その他の話題では、杉峠の様なヒサマツのポイント、大杉谷で五頭のクロコムラ、加賀のクロコムラ出現率は一割か、成虫記録が少ないコムラサキ、犀川ダムのキバネセセリ、金沢で記録されたコヒオドシの謎、アサギは佐渡を経由するか、手荷物にナタを入れて搭乗、親子で採ろうスジアカクマゼミ、アカヘリミドリタマは三回ス力、などなど。参加は、井村、久慈、松井、中西、細沼、生田(耕)、竹谷、三上、吉村、西原の十人。

會員の動き・しゃばの動き

セミ採りに励む吉村親子

最近、子連れで採集に励んでいる吉村氏、今夏はセミ採りに挑戦。セミといっても、昨年発見されたばかりのスジアカクマゼミで、発生期も分かっていたが、七月十四日に二子を初観察した。

蝶影の濃さに元氣百倍

雨飾から笹ヶ峰にかけてアサマジジミの調査に出かけた久慈氏、各地で多数を観察し、筋肉痛に見舞われながらも、にんまりして帰ってきた。

ミズムシ・ヤゴ・オタマを募集

珠洲のマルコガタノが産卵し、飼育に追われている昆虫館、休耕田やら用水でエサ探しをしているが、大食漢の幼虫にはどれだけ準備しても間に合わないとか。

二〇〇W水銀灯の威力やいかに

八月四日、尾口村はミントレイノの奥、瀬女高原で「むしの会」主催ののライトトラップが行われた。この日のために準備した、二〇〇W水銀灯が大活躍し、ヒゲナガやヒメオオ等の大物が飛来し、賑やかな採集会になった。

武尊山でオオホソコバナ

井村会長、野中エサケルスグループと合流し、武尊山でオオホソ、檜枝岐でオニホソ、イガブチ、フタコブ等を採集。

宝立山のヨコヤマヒケナガ

奥能登にわずかに残る宝立山のブナ林、ヨコヤマの脱出孔が程々あるが、成虫はなかなか観察できない。今年も、吉村氏と井村会長により、

三み採集されたが、かなりしつこくブナにしがみついているらしく、二度目の揺さぶりで、やっと落ちてきた。

猛暑の丸石谷を歩いてみた

八月十日久慈氏、ゴマとムモンを探して猛暑の丸石谷に分け入ったが、影も形も無し。林道の終わりまで歩いたが、エルやホシミスジが出迎えてくれただけに終わった。

陽当たりは殺人的な暑さ

檜枝岐でイガブチをつまんだ井村会長、その足で福島のアオタマに走った。福島では、殺人的な暑さで日向に出られず、日陰でどうにかアオタマ二頭を採集。

内浦町の蝶目録に手応え有り

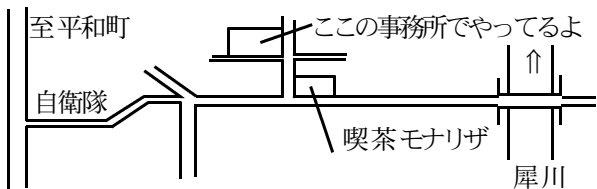
目録作りに取りかかった日吉宏朗氏、三年計画で目録を完成させる予定とか。今年も地域の環境観察に励むとともに、積極的に採集活動も行っているの、中間報告があるかもしれない。

翔 158号

Tobu 2002年10月1日発行
百万石蝶談会

<http://member.nifty.ne.jp/hakusan/>
金沢市大場町東871-15 松井方
☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から
TEL参加もOKです (076-244-3318)



目 次 (158号)

細沼 宏：医王山でヒサマツミドリシジミを採集	1
大脇 淳：石川県尾口村新岩間温泉周辺で採集目撃した蝶類	2
松井正人：石川県押水町の神社林でウスイロコノマチョウを目撃	3
井村正行：オオオビハナノミの追加記録	3
矢田新平：石川県におけるムモンアカシジミの新産地	4
日吉芳朗・日吉南賀子：石川県輪島市での2001年の蝶採集記録から	4
松井正人：ヒサマツミドリシジミ採卵の有力ポイント	7
編集部：会員の動き・しゃばの動き	10